

2013年(平成25年)10月18日(金曜日)

チコリの根 収穫試験

とかち財団 時間短縮へ課題

根に豊富な食物繊維が含まれる野菜「チコリ」の活用方法を研究しているとかち財団

は、帯広市内の農場で収穫試験を行った。根を残さず掘り起こす技術を確立するため、シヤガイモ用収穫機を使い、作業効率などを確認した。

栽培方法がビートと似ており、てん菜糖用の設備で食物繊維「イヌリン」が抽出できることから、財団は新たな高収益作物になり得ると期待。

文部科学省の補助を受け2009年度から、試験栽培やイヌリンの商品化に取り組んでいる。収穫試験は15日に実施し、土中に根の一部が残ることをある程度防げたものの、ビート収穫に比べ時間がかかることも判明。大規模栽培に向けて課題を残した。

財団は「栽培・収穫技術を農家などに紹介し、生産拡大につなげたい」としている。

(田口博久)

食物繊維が豊富なチコリの根の試験収穫

